

商工まるわかり通信 No.12

鹿本商工の技術が灯す、山鹿灯籠祭りの夜



毎年8月15日・16日に開催される山鹿灯籠祭り。

金灯籠を頭にのせた千人の女性が踊る「千人灯籠踊り」をはじめ、街全体がやさしい光に包まれる山鹿を代表する夏の一大行事です。

市内外から多くの観光客が訪れ、その幻想的な光景は全国的にも知られています。

この祭りの灯りの一部を支えているのが、鹿本商工高校電子機械科の生徒たちです。

生徒たちは、灯籠に組み込む発光装置の開発・制作に取り組んでいます。

地元山鹿市からの要請を受け、課題研究「地域『光』献」として開発・制作に着手。

子ども灯籠でも安全に使えるよう、軽量化や低発熱化に加え、
低コストで扱いやすい設計に改良を重ねました。

完成した装置は、山鹿灯籠祭りの本番でも実際に使用され、
伝統の灯りと現代の技術をつなぐ大切な役割を果たしています。

その成果は高く評価され、令和5年度には熊本県ものづくり工業会長賞を受賞しました。自分たちの学びが地域の伝統行事に生きる経験は、生徒にとって何よりの誇りです。

鹿本商工の技術と情熱が、今年も山鹿の夜を温かく、そして力強く照らします。